通俗三國志

初編

へ13
4455
1

A13
4455
1

通俗三國志初編

重田貞一譯
歌川國安画

浅両國吉川町
大黒屋平吉販

三國志画傳序

夫搖存亡の書ハ其功勞を賞し。その艱難を想像して。自ら善道ふ進こ。悪趣ふ染ざるの結搆ふて。外ふ入る眼を悅しむ。内ふハ児童を正法ふ導くの階梯ふなるべし。遠く異國を考ふるに。呉魏蜀の三國鼎峙の本原ハ。漢の高祖三尺の劍を引提。秦の乱を平治ひしふり。哀帝の時まで二百餘年。天下悉く治くふ。王莽漫ふ王位を簒ひて。海宇まく混乱も。光武ふ是を平げて。後漢乃代を興しひ。質帝植帝のゆ附まで。凡ふ二百年ふ及べり。光武帝より十二代の帝を靈帝と申奉る。植帝のゆ嬖りを

受て。此年十二歲ゐして。天位ゐ昇ぼり。此時大將軍竇武。太傅陳蕃。司徒胡廣。三人相共ゐ朝政を攝りて。王侍郎王甫とらゑの。諂佞ゐして補佐し奉る。其後內官ゐ。曹節王甫とらゑの。諂佞ゐして君を欺き。權柄を恣ゐせしかば。竇武陳蕃名。こまを殊せんとして。計を巡ら(かり)て其名を害せらるゝ。此より內官ぞゐく漫ゐ朝綱をゑゐ握れり。建寧二年ゐ宮中洛陽ゐざまざま天災怪異の止ず。改元ありて喜平と号とらゑども。邊境謀反ぞるものあり。故又光和と改む。此時黃巾の賊紀ア。蔓て四方亂國と成。此始終戎編集して。追こ梓行ぞる事こゝ有りぬ

重田貞一誌

原生屠沽
家卑賤而
妹何皇后
產劉辯干了何進
取權柄廢十常侍
滋蔓朝廷不弥
久為內官滅亡

何氏君寵溢身
為皇后靈帝涼
闇後扶幼君治
政事董太后
有間
遭董
卓逆
意
弘農
王相共干
永安宮
亡滅

何太后

賊將
張角從異人学得太
平要術呼雨起風施
符水治病自号大賢
良師門下一萬餘
人發非
分望
兄弟
一齊誅伏

黄巾賊將鉅鹿張角

義人天性含露
如芙蓉春色今
十八歌舞吹彈
一通百達九流
三教無不極
云為恩
投身

樂女貂蟬

玄德漢中山靖王劉勝
後裔劉備字玄身長
七尺五寸兩耳
垂肩兩手
過膝洗
慎
寛容
英雄
三雄
桃園結

義之圖
關羽字雲長身長九尺五寸
髯長一尺八寸面如
重束唇如抹
硃丹鳳眼
卧蠶眉相
貞堂々
威風
凛々
張飛字翼德身長八
尺豹頭環眼燕頷虎
鬚其勢似奔馬

發端

後漢霊帝の御時。鉅鹿郡の張角。山中ゟ入南華老仙ゟ逢。三巻の書を傳へ。よまを讀て怠らぜ。妖術を得て。ごゝ〻大平道人と号し。普く人の病を赦ひ五百餘人の弟子を。四方へ分て。其術をほどこしめ。符と書て施わすゟ郡縣。市鎮。宮観。寺院までも。これを推ぎとりつゝ。此故ゟ諸國張角を敬ひ貴こと。鬼神と拜まるゞぬくなるに忽非分の大望を發し。密ゟ人をして。宮中十常侍のうち。封諝徐奉等ゟ内通のことを頼ゝ二人の弟張梁張宝を大將ゝし。黄なる旗を造り。門下黄巾を戴き。四方ゟ蜂起せ。とゝ乱逆のたくみをなすゝ

劉玄德が勢
大奥山の
賊徒を討屠

敗軍を樹ム
廣宗ふ
董卓の
極勢

賊将

張角

妖術

雲中ふ

軍勢を

現トて官軍を

惑を

曹操無礼を罵る

張飛督郵を攻撃す

十常侍

関羽
張飛
玄徳
那部司馬
仕ト
平原
の
郡

百姓を
恵む

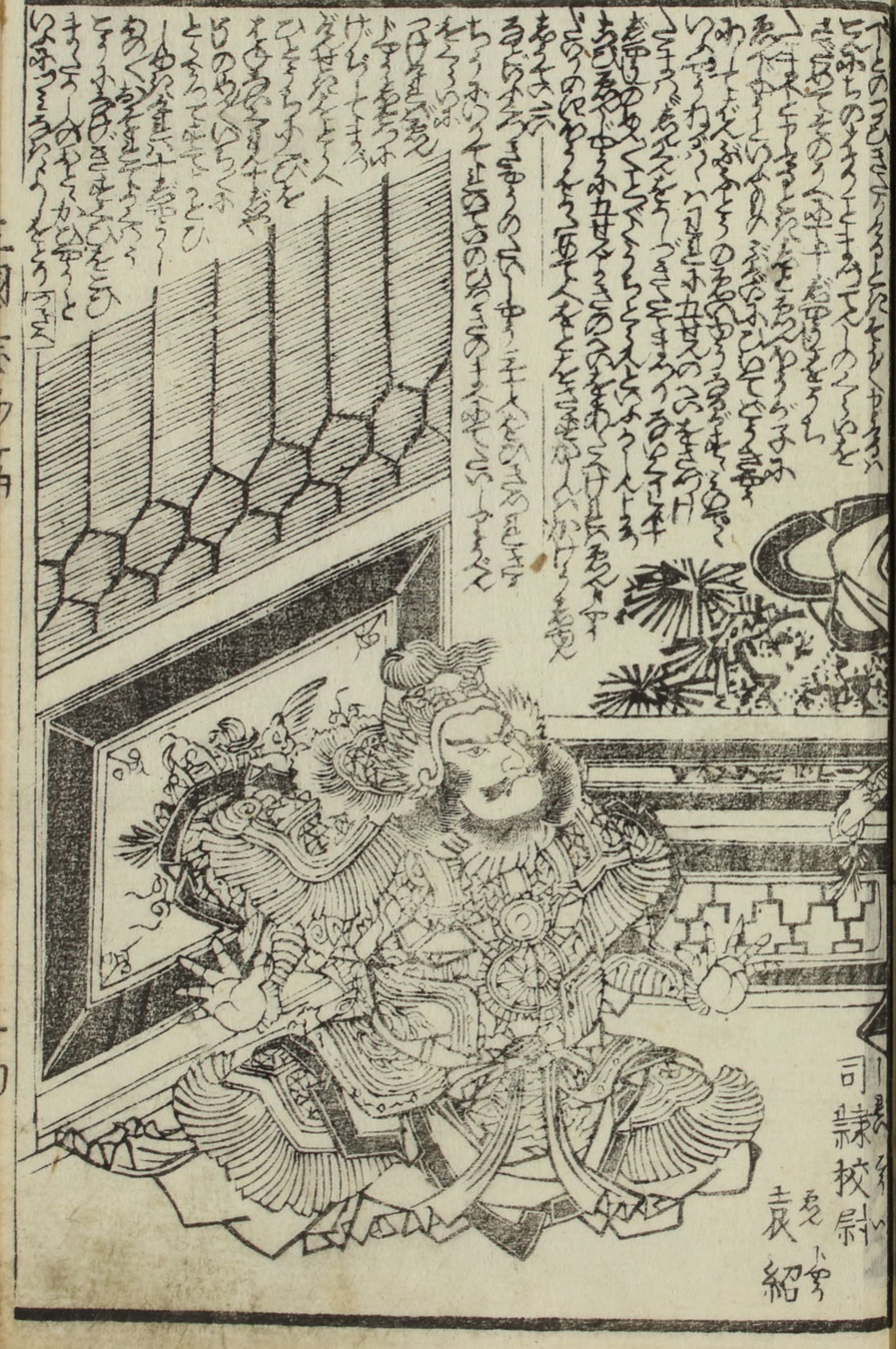
何皇后

十常侍封諂

黄門蹇碩を

密計を談ず

何進
逆謀
曹操
軍校尉
典


司隷校尉
袁紹

何進奸悪
董太尉
董超を
併ふ
搦め

領西涼州の刺史
董卓都に入る
中郎李儒

十常侍
何進を誅

何進
後宮
騒動

李儒

董卓百官を會して天位を定んとす

董卓を拱む

清秀五原郡の呂布

呂布軍戦

李肅

呂布を説く

降む

赤兎馬

中軍拔刀袁紹本国に下向す

董卓尚書郎を斷

李儒の驕慢
毒酒をのんで
弘農王
何太后を
殺し奉る

中牟縣の関
曹操
驍騎校尉
難戰生捕る

曹仁
曹洪
曹操
義兵を起す

張衛
弘
夏侯惇
樂進

後將軍南陽太守袁術字公路

冀州刺史韓馥字文節

豫州刺史孔伷字公緒　兗州刺史劉岱字

公山　河内郡太守王匡字公節　陳留太守

張邈字孟章　東郡太守喬瑁字元偉

山陽太守袁遺字自業　濟北相鮑信字元誠

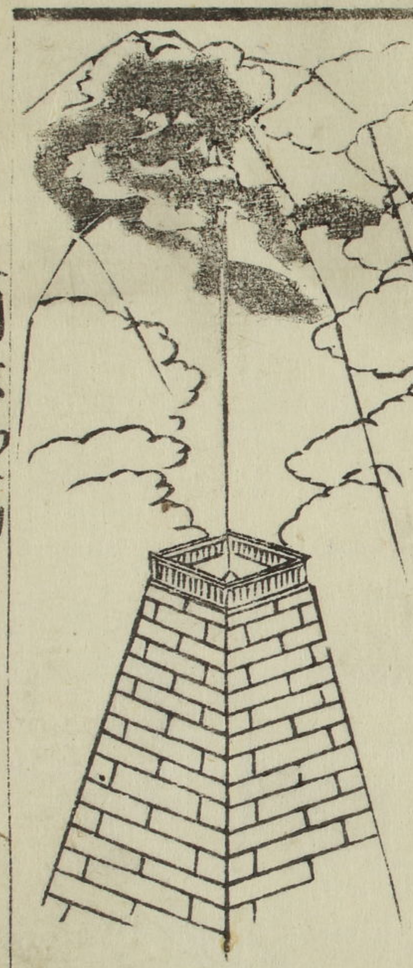
北海太守孔融字文舉　廣陵太守張超字

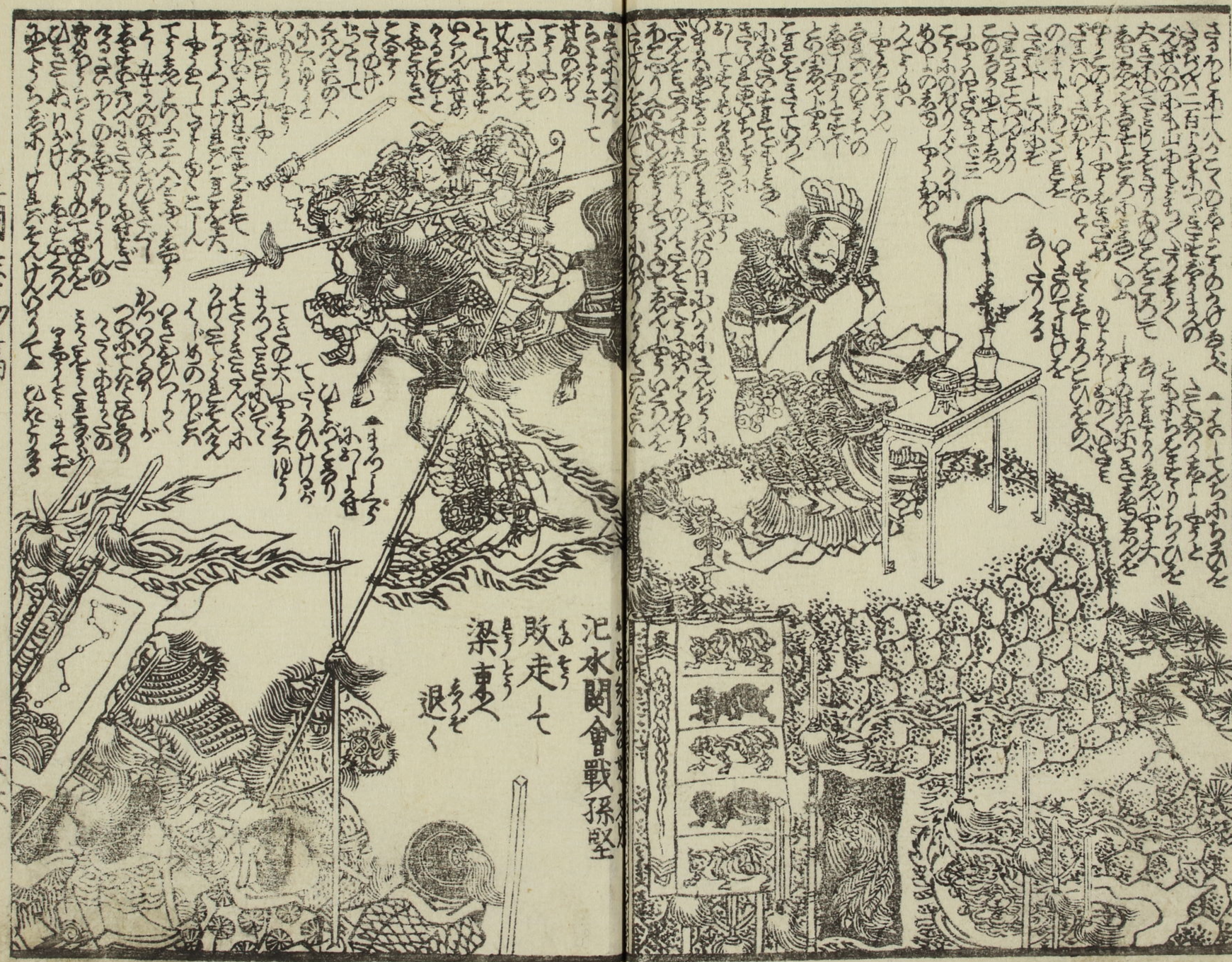
孟高　徐州刺史陶謙字恭祖　西凉太守

馬騰字壽成　北平太守公孫瓚字伯圭

上黨太守張楊字稚叔　烏程侯長沙太守孫堅字文臺

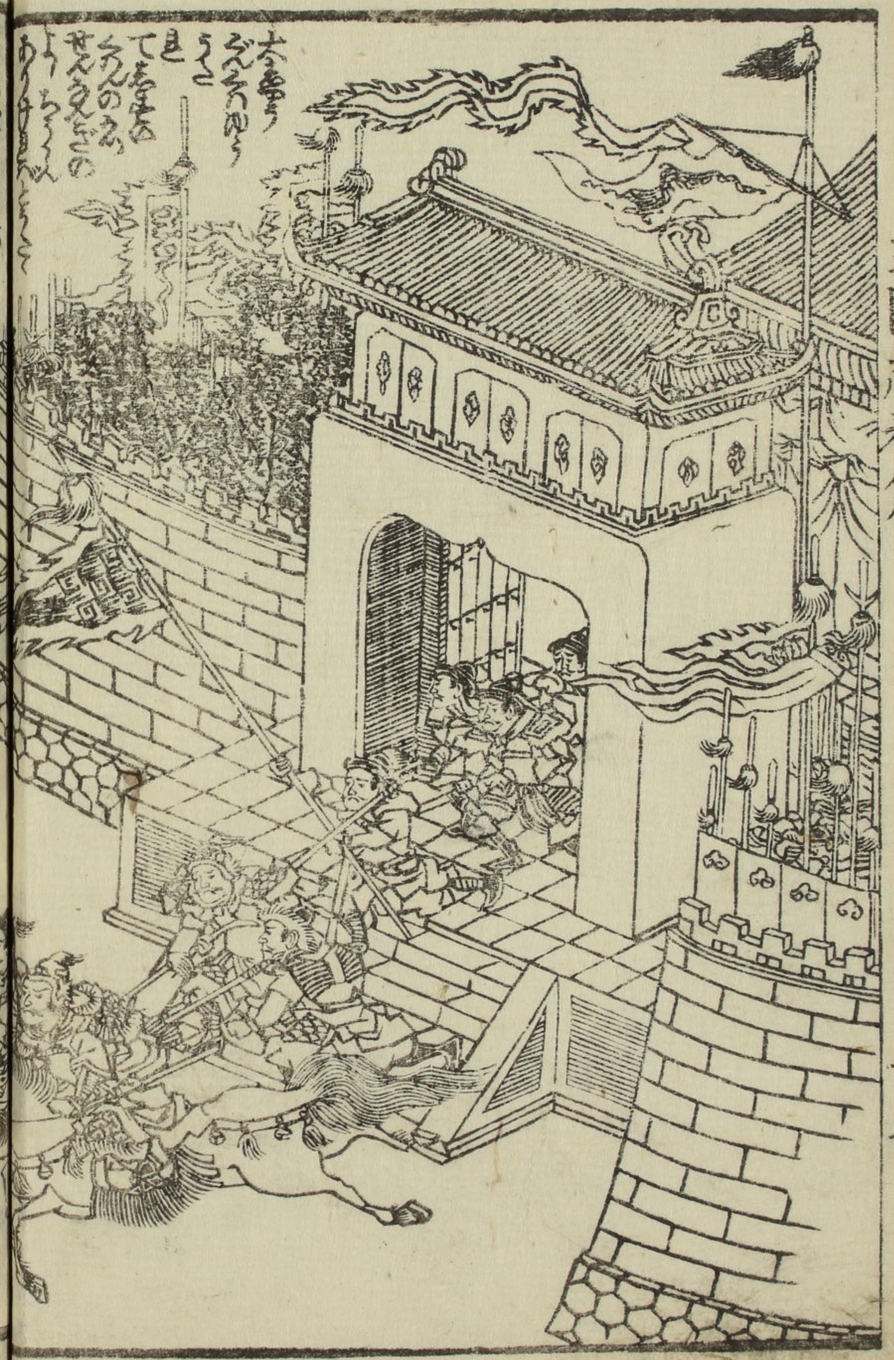
祈鄉侯渤海太守袁紹字本初

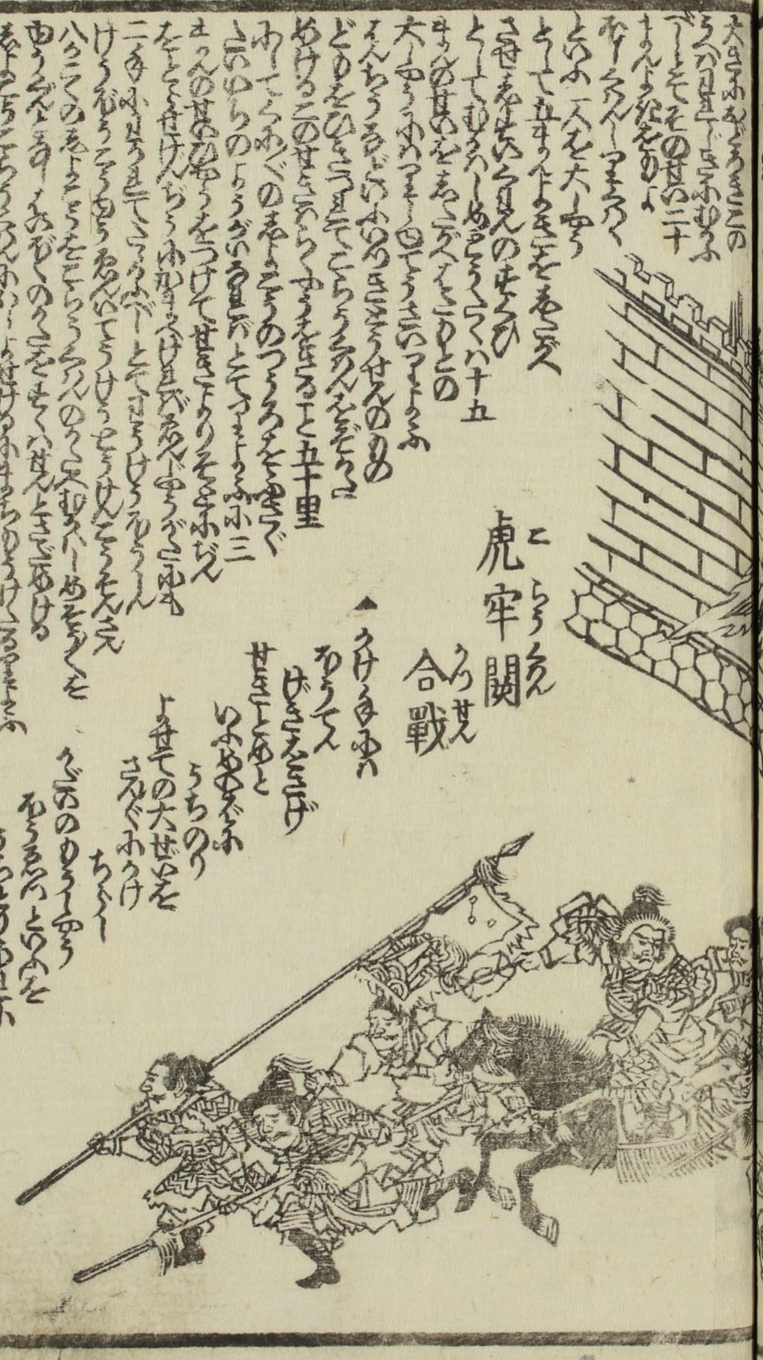




汜水関會戰孫堅
敗走して
梁東退く

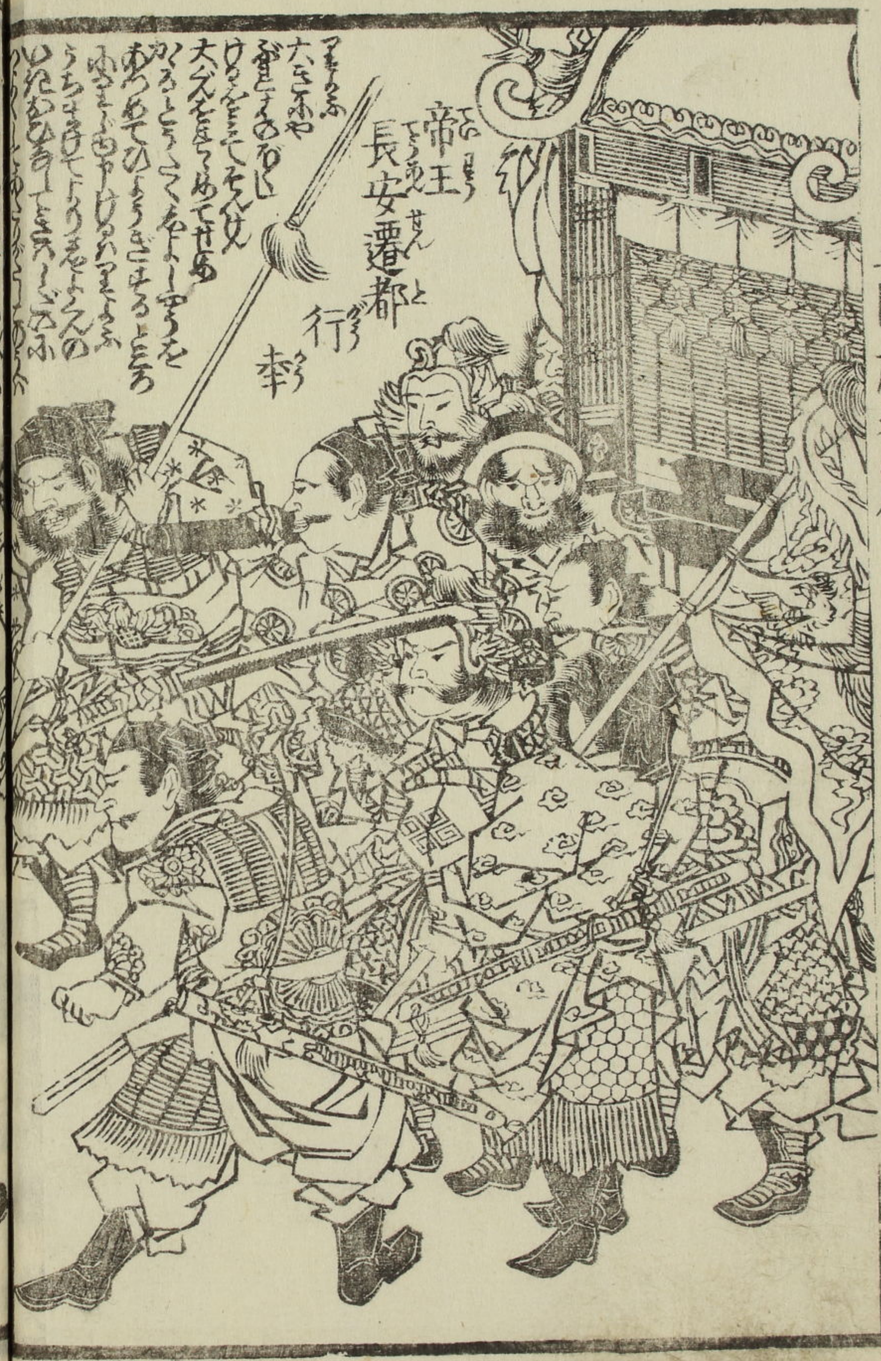
関羽
猛勢
華雄を
切殺す





虎牢関合戦

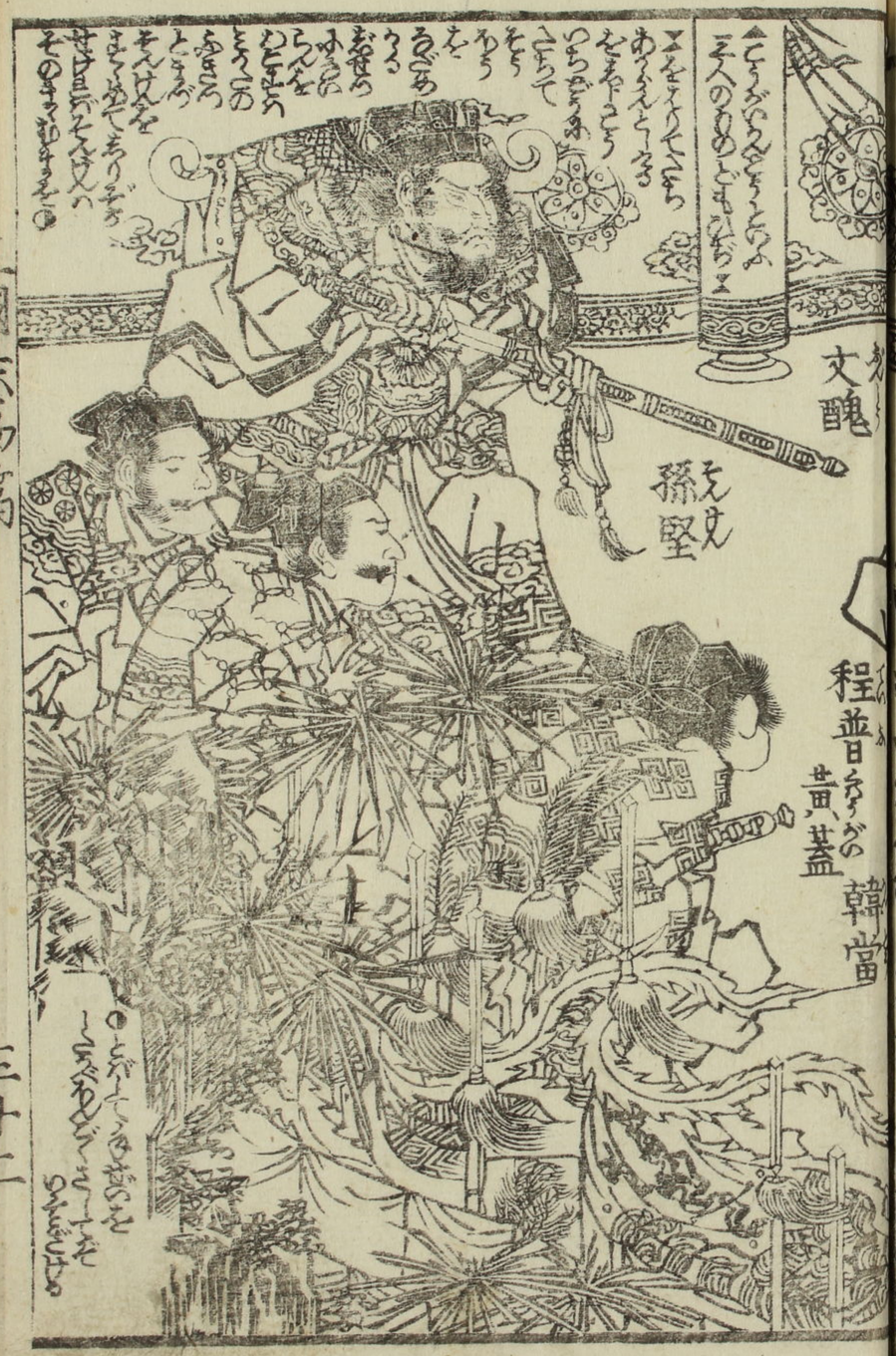
呂布猛勢鬪羽張飛と會戰を


帝王
長安遷都
行幸

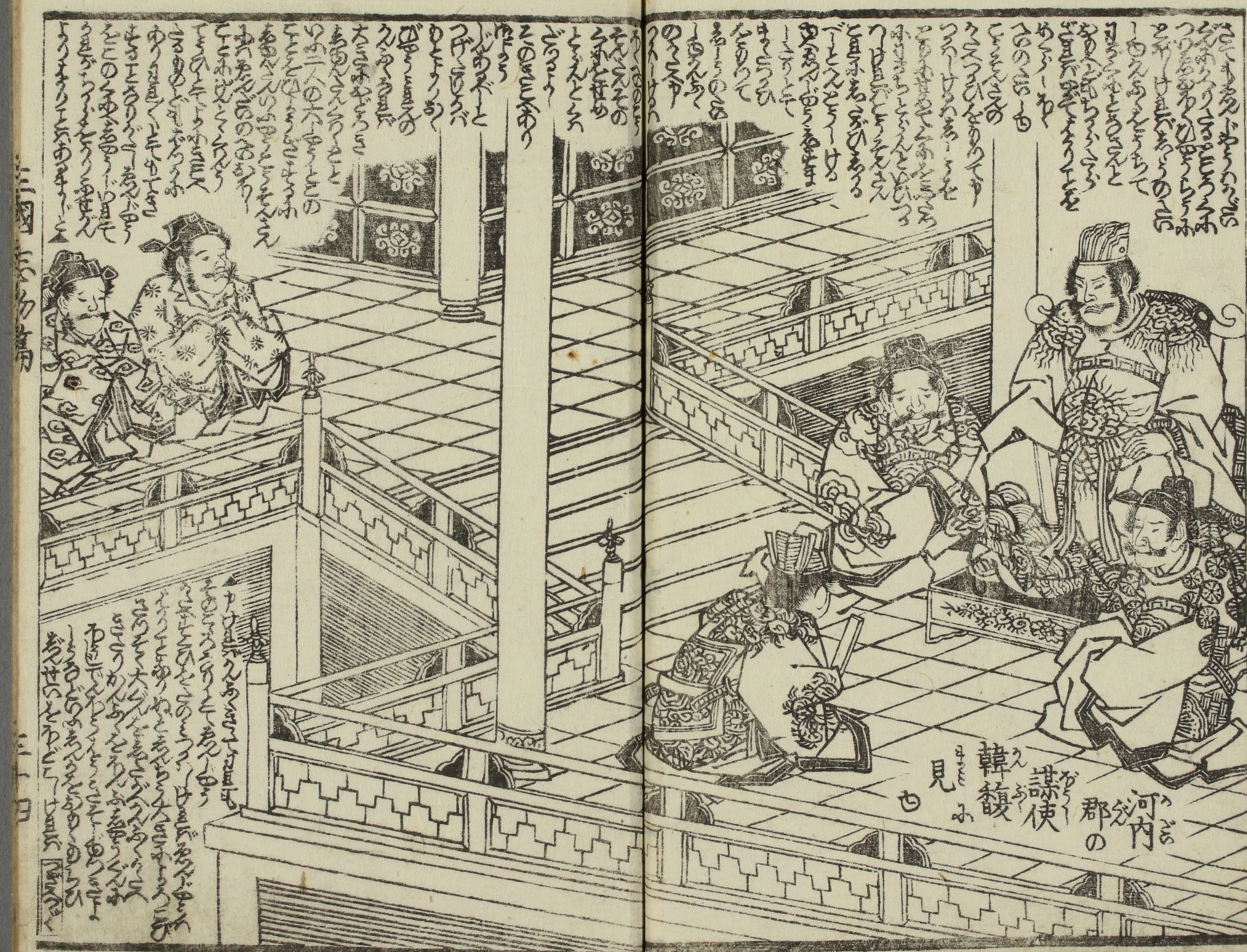
諸軍洛陽乱入

孫堅傳國の玉璽を得る

袁紹
孫堅
争論
顔良


文醜
孫堅
程普
黄蓋
韓當

交州の刺史
劉佑
夜討
喬瑁の陣を劫



河内郡の謀使韓馥見る

盤河合戰
北平
勢
敗走

玄德關羽張飛公孫賛の敗軍を救ふ

太傅馬日磾

吳孫堅
荆州
進發

樂女招蟬

司徒王允國家の危急を救歎息を

貂蟬

王允謀計呂布を賀應せ

呂布

呂布過て王允を討んとす

諸先生精選諸名画揮筆

文政大雜書万々暦

大増補再版近刻

大本 全一冊

發行書肆

和泉屋市兵衛
藤岡屋慶次郎
森屋治兵衛
山口屋藤兵衛
大黒屋平吉版